

ACANTHUS NEWS



平成15年 **2003.9**

月刊アカサスニュース
金沢大学広報紙 第82号

本学の法科大学院に期待の声 —平成15年度第1回金沢大学フォーラム—

TOP NEWS



冒頭、あいさつする林勇二郎学長
＝8月24日、金沢大学サテライト・プラザ

「法科大学院における法学教育と法曹の役割」をテーマとしたシンポジウムが8月24日、金沢大学サテライト・プラザで開かれた。

シンポジウムでは、法学部細川俊彦教授が「法科大学院における法学教育のあり方」をテーマに基調講演。続いて畑安次副学長、公証人、弁護士によるパネルディスカッションが行われ、本学が来春の開設を目指す法科大学院を入学志願者や市民らにアピールした。

終了後は、入学志願者らを対象に個別相談も行われた。



パネリスト、右から橋本明夫弁護士、野坂佳生弁護士、東蔵公証人、畑副学長、中村正人法学部教授

巻頭言

21世紀COEから学ぶこと



自然科学研究科長
樋 渡 保 秋

昨年の夏、念願の都市グラナダを訪問する機会を得た。タルレガの名曲「アラハンブラの思い出」で有名な所でもある。中世アラブの繁栄を残す偉大なアルハンブラ宮殿の素晴らしさもさることながら、哀愁に満ちたこのギター曲の素晴らしさも言語に筆し難い。初めて見るアンダルシア地方の赤茶けた風景と真夏の太陽と乾いた空気が旅の心を最高にもりたてる。早朝、スケッチブックを持って川沿いに坂を登り、宮殿が丘の上に美しく見える場所で、心待ちしていた写生を行う。この絵は今も研究室にあり、その時の感動を伝えている。

さて、グラナダではグラナダ大学主催のコンピュータシミュレーションに関するセミナーが開催され、ヨーロッパの国を中心に世界中から研究者が集まった。近年、計算科学やコンピュータシミュレーションをテーマにした種々の国際会議、セミナー、ワークショップ等が世界中で頻繁に開催され

る。アメリカなどの先進国は当然としても、アジア、旧東欧諸国やスペインなどの国においても傾向は同じである。計算機のハード、ソフトの能力はまだまだ発展途上であり、したがってその適応（応用）範囲は広がる一方である。複雑な科学現象の本質解明のためには、実は遠回りに見えるかもしれないが、個別の現象を詳細に解明することが基本である。コンピュータシミュレーションの最も得意とする術がここにあるといえる。生命、物理、化学、工学など学際的な分野で全く同じ手法を適用することが可能である。これは他の既存の学問分野、研究手法では考えられない。

金沢大学にも他の大学にない大きな特長がいくつかあげられる。21世紀COEに採択された環日本海域環境関連分野の研究はその好例といえよう。理、薬、工の学問分野にまたがるこのプロジェクト研究は、自然科学研究科の理念である「学際性、総合性」の成果であると考えたい。これに次ぐものが求められるが、その芽はいくつか確実にある。これを実現させることこそが研究大学としての実力の証となろう。

平成16年度より自然科学研究科を部局化する（理、薬、工の基幹3学部の教官全員が研究科所属となる。）予定で準備を進めている。研究大学を実践するには我々に相当の覚悟と努力が必要である。

目次

本学の法科大学院に期待の声		金沢工業大学の学生 角間開発を学ぶ	7
ー平成15年度第1回金沢大学フォーラムー	1	台湾・日本幼児教育シンポジウム	8
21世紀COEから学ぶこと	2	第13回石川地域留学生交流推進会議	8
国立大学法人会計を学ぶ	3	第1回教養教育機構公開講演会	8
労働安全管理って？	3	全国の留学生「杖道」を体験	
私立大学の運営に関する懇談会	3	ー第16回JAPAN TENTー	8
特許セミナー	4	9月から禁煙ですー附属病院ー	9
金沢大学COEプログラムセミナー	4	セクハラ防止等研修会	9
いしかわ環境フェア2003に出展	4	セクハラ相談員研修会	9
発行	4	気になる子どもたちの理解と支援	9
共同研究センター協力会総会	5	不審者を防げ！	9
日本学術振興会事業説明会	5	学長室から	10
遺伝子工学トレーニングコース基礎技術コース	5	人事交流者との懇談会	10
北陸先端科学技術大学院大学との研究交流会	5	事務職員の海外研修	10
北陸テレコム懇談会表彰	5	ミニ講演「加賀藩が生んだ偉人『高峰譲吉』」	11
平成15年度大学見学会（オープンキャンパス）	6	公開講座	11
工学部オープンキャンパスてくてくテクノロジー	6	文字と絵の組合せもー留学生書道展ー	12
泥が光る？ 小・中学生のためのものづくり教室	6	「みんなで歌おう」 附属病院でサマーコンサート	12
入試懇談会、進学懇談会を開催	7	夏まつり	12
わく・ワーク体験	7	編集後記	12

法人化に向けて



講演に聞き入る部局長ら
＝8月27日，文・法・経済学部A202講義室

国立大学法人会計 を学ぶ

8月27日，9月4日の両日，部局長ら管理職の教職員が参加して，新日本監査法人公認会計士による国立大学法人会計の講演会が行われた。講演会では，国立大学法人会計基準の概要と財務諸表の分析手法について，これまでの国立大学の会計手続きと比較しながら説明があり，今後は大学の自己責任が問われ，国民への説明責任と最大限の効果を発揮することが期待されることが強調された。

労働安全管理って？

8月26，27日の両日，安全衛生に業務上携わる職員を対象に，労働安全衛生法に基づく安全衛生管理のあり方等について講習会が実施された。講習会では，労働衛生コンサルタント事務所プライムの木田哲二代表から，同法の概要，大学における安全管理の特徴等について説明があった。



説明するコンサルタント事務所代表
＝8月27日，事務局大会議室

私立大学の運営に 関する懇談会

南山学園(南山大学)の元理事・監事で，現在も複数の学校法人の役員を務める山本勇郎氏を招いて，私立大学の運営に関する懇談会が開催された。本学から中村，金子両副学長のほか，大島事務局長以下事務局職員が出席し，南山大学における役員会の運営方法，監事の職務，同窓会活動などについて，他の有力私立大学の例も交えて意見交換を行った。



懇談する山本氏（左端）と教職員
＝7月8日，事務局特別会議室

7・8月のニュース

特許セミナー

7月22日から24日の3日間にわたり、平成15年度第1回特許セミナーが工学部秀峯会館、石川高専、医学部記念館の3ヶ所で開催された。1, 2日目は理学・工学系分野に、3日目は医学・薬学系分野に焦点をあて、特許制度の概要、出願の特徴などの講演、情報検索方法の実演等が行われ、教職員のほか、石川高専、金沢医科大学、北陸大学、企業関係者ら延べ200名を超える参加者があった。



講演する小西・中村特許事務所弁理士小西富雄氏
＝7月23日、工学部秀峯会館中会議室



意見交換するマルティネス博士と参加者
＝事務局大会議室

金沢大学 COEプログラムセミナー

7月18日、金沢大学COEプログラムセミナーが開催され、国連大学・いしかわ国際協力研究機構所長マルティネス博士が「国連大学・いしかわ国際協力研究機構所長の目指すところ」と題して講演した。講演の後、本学COEプログラムといしかわ国際協力研究機構との連携、研究協力のあり方について活発な意見交換が行われた。

いしかわ環境フェア2003に出展

8月30, 31日に石川県産業展示館2号館で開かれた「いしかわ環境フェア2003」に、本学の21世紀COEプログラムが出展し、プログラムの研究内容を紹介した。



研究内容を紹介したブース
＝8月30日、石川県産業展示館2号館

発行

○環日本海域の環境計画と長期・短期変動予測
本学から採択された21世紀COEプログラムの研究内容を紹介する冊子



問合せ先：金沢大学COEプログラム事務局
(TEL：076-234-4442)

共同研究センター協力会総会

7月9日、共同研究センター協力会総会が開催された。総会では、14年度事業報告及び決算、15年度事業計画及び予算、役員の選出等が審議され、顧問・参与・産学コーディネーターの委嘱について報告があった。



あいさつする渋谷弘利会長
＝金沢市内のホテル

日本学術振興会事業説明会

7月8日、日本学術振興会国際事業に係る事業説明会が開催され、本学、北陸地区の大学などから約50名の教職員が参加した。

同会国際事業部の榎本剛人物交流課長及び樋口和憲国際研究協力課協力事業係長から、国際交流事業の新たな動向と展開、研究助成、研究者養成のための支援、学術の国際交流の推進に関する各種事業等の概要及び現状等について説明があった。



説明する樋口係長
＝事務局大会議室

遺伝子工学トレーニングコース 基礎技術コース

7月28日～8月2日、第17回遺伝子工学トレーニングコース講習会が行われ、学内から留学生4名を含む16名が、学外の民間企業・研究所などから4名の講習生が参加して遺伝子のクローニングなどの基礎技術を学んだ。



クローニング技術を学ぶ講習生
＝8月1日、学際科学実験センター遺伝子研究施設

北陸先端科学技術大学院大学との研究交流会

7月24日、大学院自然科学研究科と北陸先端科学技術大学院大学との研究交流会が開かれ、両大学の学生、教職員ら約60名が参加した。自然科学研究科及び先端大からそれぞれ4名の教授が研究テーマを紹介。参加者らは研究のヒントを求めて真剣に聞き入っていた。



研究交流会の様子
＝北陸先端科学技術大学院大学

北陸テレコム懇談会表彰

7月16日、総合メディア基盤センター車古正樹教授は、北陸テレコム懇談会から表彰された。大学内の情報通信基盤の整備高度化に尽力するとともに、地域の情報化推進に貢献したことが評価されたもの。



車古正樹教授

大学開放

平成15年度大学見学会(オープンキャンパス)



学生の実演に見入る高校生
＝工学部機能機械工学科



8月9日、各学部を会場に大学見学会が開催された。今年は土曜日の開催だったため、台風が接近する悪天候にもかかわらず、昨年の1.3倍となる3138名の高校生や保護者が参加した。

プログラミングの実習を行う高校生
＝教育学部パソコン室

工学部オープンキャンパス てくてくテクノロジー

8月10日、工学部でオープンキャンパス「てくてくテクノロジー」が開催され、市民、小中高生ら495名が参加した。学部長らの講演会、フォーミュラマシン特別展示・試乗会、研究室の展示・実演、進学相談、技術相談などが行われた。



人気を博したフォーミュラマシン特別展示・試乗会



ろうそく作り

泥が光る？ 小・中学生のためのものづくり教室



8月21日、工学部は、子どもたちにもものづくりの楽しさを教えようと、昨年度に引き続き、「小・中学生のものづくり教室」を開催し、市内の小中学生とその家族200名が参加した。

ピカピカ光る泥団子作り



振り子時計作り



キリンロボット作り

入試懇談会, 進学懇談会を開催



出席の石川県高等学校長会長ほか高等学校長ら
＝7月24日, 教育学部402講義室

来春の入学試験に向けて, 北陸3県の高等学校を対象に, 入試懇談会, 進学懇談会が開かれた。

大学主催の入試懇談会には, 65校から84名の高等学校長らが参加し, 入試概要説明, 質疑応答のほか, 「高大連携に関する諸課題について」をテーマに活発な懇談が行われた。

薬学部主催の進学懇談会には, 22校から23名の進路担当教諭が参加し, 移転, 薬学部6年制への移行等の懇談が行われた。

工学部主催の進学懇談会には, 57校から59名の進路担当教諭が参加。各学科の説明の後, 工学部関係者らと入試, 教育環境, 角間への移転, 就職状況等の懇談が行われた。



辻薬学部長から説明を受ける出席者
＝7月7日, 薬学講堂



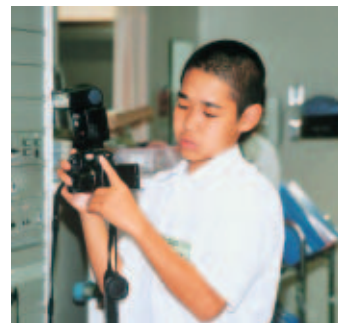
懇談する出席者と工学部関係者 (右)
＝7月5日, 工学部秀峯会館

わく・ワーク体験

中学2年生の職場体験活動「わく・ワーク体験」は, 今年は教育学部, 附属図書館, 総務部及び附属病院の各部局において4校から12名を受け入れた。体験した中学生は, 大学には様々な仕事があることに驚いた様子だった。



看護体験を行う中学生 (左端) とその様子取材体験する中学生 (右)
＝7月23日, 病院看護部



概要説明を受ける金工大生
＝8月28日, 大学教育開放センター講義室

金沢工業大学の学生 角間開発を学ぶ

金沢工業大学の学生20名が, 同大の実験実習「環境アセスメント」の授業の一環として, 角間団地の開発の影響, 角間の里山の環境などを学んだ。浅藤 進施設部FM推進室長から概要説明, 中村浩二自然計測応用研究センター教授から里山の環境評価について説明を受けた後, 角間II団地の現場見学, 里山の実態調査を行った。

7・8月のニュース

台湾・日本幼児教育
シンポジウム

8月26日、教育学部は、幼児教育の研究と実践を国際的な視野から考察し、英語教育の早期導入について検討すること等を目的に、台湾、日本の大学教官、幼稚園教諭、保育士など約70名が出席して幼児教育シンポジウムを開催した。

両国の出席者から、それぞれの国における幼稚園、保育所の立場と実践教育指導法について実例紹介があり、教育理念や保護者の就労環境、幼児の修学環境、文化的相違などによる両国の幼児教育環境の相違について、活発な意見交換が行われた。



ビデオで実例紹介する発表者
＝教育学部音楽ホール



あいさつする林学長
＝金沢市内のホテル

第13回石川地域留学生交流推進会議



懇談会で歌を披露する本学の留学生

7月10日、第13回石川地域留学生交流推進会議が開催され、県内の高等教育機関、地方公共団体、経済団体、国際交流団体関係者らが出席した。会議後行われた県内留学生との懇談会では、留学生から様々なアトラクションが披露されて、懇親を深めた。

第1回教養教育機構公開講演会

7月22日、平成15年度第1回教養教育機構公開講演会が開催され、米国デラウェア大学外国語学部で日本語、日本文学を教えるローレンス・マルソー準教授が講演した。マルソー氏は流暢な日本語で、米国の大学における教員の職責、語学教育の現状、学生の授業評価とその利用方法等を紹介。この講演会は文学部FD研究会を兼ねて行われた。



「デラウェア大学の言語教育プログラム」と題して講演するマルソー氏
＝総合教育棟会議室

全国の留学生「杖道」を体験
－第16回JAPAN TENT－

「禅と善のふるさと石川」をテーマに県内で開かれた第16回JAPAN TENTの中で、本学は8月6日に日本古来の武道「杖道」体験プログラムを実施した。全国から参加した留学生22名は、杖道の説明を受け、居合道及び剣道・杖道の演武を見学した後、杖道の技に挑戦。武道が伝える日本の技と精神を学んだ。



ビットマン助教授の指導により杖道の技に取り組む留学生
＝8月6日、体育館



講演する上島教授
＝医学部臨床第一講義室

9月から禁煙です ―附属病院―

7月24日、附属病院は9月1日からの病院敷地内・全館での禁煙に先がけ、喫煙者の禁煙をサポートするため、教職員、学生らを対象とした禁煙講演会を開催し、130名が参加した。

参加した教職員らは、滋賀医科大学の上島弘嗣教授による「医療機関及び保健医療従事者の喫煙対策への取組みの必要性和重要性」、奈良女子大学の高橋裕子教授による「医療職による患者・同僚への禁煙支援」と題する講演に熱心に聴き入り、禁煙に対する意識を一層深めた。

セクハラ防止等研修会



7月18日、附属中学校研修会

5月から11月にかけて、主に教官を対象とするセクシュアル・ハラスメント防止等研修会を、各部局において順次実施している。

教授会等、多数の教職員が集まる機会を捉えて実施するもので、すでに実施した部局では、ほとんどの教官が参加し、熱心に耳を傾けている。

セクハラ相談員研修会

7月14日、平成15年度セクシュアル・ハラスメント相談員研修会が行われ、18名の相談員が参加した。



「傾聴の練習」で、ロールプレイをする相談員
＝事務局第2会議室

気になる子どもたちの理解と支援



講義を行う小林助教授
＝附属養護学校

7月28日、附属養護学校で「特別支援教育研修講座」が開講され、教育学部小林宏明助教授が「気になる子どもたちの理解と支援」について講義を行った。県内の小・中学校及び特殊学級担当教諭、保護者ら約80名が出席し、通常学級にいる軽度発達障害児について理解を深めた。

なお、この講座は12月まで8回開催される。

不審者を防げ！

附属小学校では、一昨年起こった大阪教育大附属池田小学校での児童殺傷事件を教訓として、警察官立ち会いの下、教員による不審者対策訓練を行った。

訓練は、不審者が校内に侵入したときにすばやい行動で対処できることをねらいとし、警察官から事件の対応に対する厳しい意見や護身術、装備品、日常の心がけ等について講評を受けた。



警察官から護身術の指導を受ける教員
＝8月25日、附属小学校

学長室から



8月26日、日中平和友好条約締結25周年記念事業のセミナー等
に出席のため来県した、中国・江蘇省人材協力代表团26名



8月25日、台湾・日本幼児教育シンポジウム出席のため来学した、
右から3人目、台湾国立台東大学 李 宗文副教授、
右から2人目、黄 慷芬助理教授



8月25日、県内の大学等視察のため来県した、左から文部科学省
林 幸秀科学技術・学術政策局長、同 中川健朗地域科学技術振興
室長



7月23日、わくワーク体験で学長室を訪れた兼六中学校の中学生

人事交流者との懇談会

8月29日、本学から他の国立学校等に出向している職員71
名のうち32名が出席して、人事交流者との懇談会が開かれ、
本学の現況説明、交流者の現況報告などが行われた。



あいさつする大島有史事務局長と出席者
＝事務局大会議室

事務職員の海外研修

○文部科学省国際研究交流担当職員短期海外研修プログラム
総務部総務課 林 透主任
平成15年7月19日～9月7日（51日）
グリフィス大学、ロイヤル・メルボルン工科大学（オース
トラリア）



グリフィス大学国際交流オフィスのマネージャーと林主任（左）

大学開放

ミニ講演 「加賀藩が生んだ偉人『高峰譲吉』」

○月 日：7月26日

○講 師：山嶋哲盛医学系研究科助教授

○場 所：金沢大学サテライト・プラザ

○テレビ会議システムによる「金沢大学遠隔講座」受信会場：
津幡町中央公民館

○来場者：56名



公開講座



言語学から見た金沢弁
＝8月30日，サテライト・プラザ



コードネームを使った簡単なピアノ伴奏講座
＝7月5日，音楽ホール



教員のための手話講座
＝8月25日，教育学部103講義室



VLSI設計講座
＝8月4日，工学部電子情報棟VSLI設計室



ライフスタイルと健康
＝8月20日，医学部保健学科講義室

社会教育主事講習

7月22日～8月22日，受講者65名



講習最後に行われた林学長の講義
＝8月22日，大学教育開放センター大講義室

学校図書館司書教諭講習

8月19日～28日，受講者60名



情報メディアの活用についての講習
＝8月25日，教育学部401講義室

文字と絵の組合せも — 留学生書道展 —



完成した作品を披露する留学生

留学生の書道の成果を発表する書道展が、今年は石川国際交流サロン（7月24日～8月3日）、金沢大学サテライト・プラザ（8月7日～13日）の2箇所で開催された。留学生の作品は、漢字、仮名、調和体とジャンルを超えて作られ、その新鮮な感性は多くの市民に感銘を与えた。

「みんなで歌おう」 附属病院でサマーコンサート

医学部附属病院では、入院中の患者のためのサマーコンサートを開催し、ハープの演奏と朗読による「ハープと詩の調べ」、金沢美術工芸大学学生サークル三線部^{さんしんぶ いんがんとう}「石敢當」による「沖縄のうた」、ハープと三線の合奏と合唱による「みんなで歌おう」を行った。



ハープと三線の合奏と合唱
＝8月27日、附属病院

夏 ま つ り

スイカ割りやゲーム楽しむ



ヨーヨーつりに熱中する子供たち

7月31日、附属病院小児科病棟で毎年恒例の「夏まつり」が開かれ、やきそば、カレー、ポップコーンなどの夜店、スイカ割りやゲームなどの企画が夏祭りを盛り上げた。

また、子供たちによる歌や看護学生による踊りも披露され、子供たちの輝いた目や笑顔があふれた

1日となった。

盆踊り、じゃんけん大会など

7月18日、附属幼稚園運動場で、育友会の運営による「夏まつり」が行われ、可愛い浴衣や甚平に身を包んだ園児ら約300名がまつりを楽しんだ。



着ぐるみと記念撮影

編 集 後 記

学生不在のキャンパスは一見閑散としているかと思えば、さにあらず。今夏の異常気象ものともせず第二期キャンパス整備に拍車がかかり、見る見るうちに総合研究棟群が建ち上がってきています。まさに新世紀の大学が形成されつつある感じがします。

今月号においても、時代の変化・要請を受け大学として地域に根ざした存在感ある教育改革等に^{まいしん}邁進中であることをトピックとして編集しました。内容の1つ1つどれを捉えても大変意義深いもの、緊急性のあるもの、読者にとって看過できないもの、真剣な中にもゆとりや心温まるもの、微笑ましいもの…。

…今後も、継続して誌面充実にご支援、ご協力を願います。

（金沢大学総務部長 湯口太多史）

平成15年 9月19日発行
（原則として毎月1回第3週に発行）

〒920-1192 金沢市角間町
編集 金沢大学総務部企画広報室

TEL 076-264-5024
FAX 076-234-4015

◆本紙の内容、その他の本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ」〈愛称“KUPIS”（キューピーズ）〉

（アドレス＝<http://www.kanazawa-u.ac.jp>）でもご覧いただけます。

◆本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール（E-mail）＝general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。